

社会教育研究部門

「教育と公共」研究部会（第52回）

日時：2023年11月24日（金）13：30～16：30

場所：オンライン

出席：上野正道・狩野浩二・田嶋一・仲田康一・藤井佳世 各兼任研究員

山口和人所長・鈴木悦子・金沢千秋・川上智子（野間教育研究所事務局）

欠席：浅井幸子兼任研究員

内容：（1）田嶋研究員：研究報告「大田堯の教育研究・実践における教育の公共性論の
深化とその構造」

はじめに

1. 大田堯の公教育論の出発点ーコミュニティ・スクール論と地域教育計画
 - 1) 戦時下に発表された論文「米国に於ける科学教育思潮」
 - 2) 科学教育とデモクラシーへの関心
 - 3) 『近代教育とリアリズム』の執筆とコミュニティ・スクール論への注目
 - 4) 「新しい時代の建設」と本郷町地域教育計画
 - 5) 教育計画づくりと「民衆の学校」
2. 社会基底研究会の結成と農村調査
 - 1) 本郷町地域教育計画の行きづまり
 - 2) 社会基底研究会と農村調査
3. 「民間」への着目
 - 1) 生活綴方との出会いとイギリスでの調査研究
 - 2) 「民間」の概念の捉え直しと「子育ての習俗」の調査研究
4. 「参加（協力関係）」の研究と「新しい公共」の提唱
 - 1) 教育をめぐる「参加」研究委員会の設置
 - 2) 臨時教育審議会と大田堯による「新しい公共」の提唱
 - 3) 「教育を改革するとはどういうことか」

おわりに

（補論）1980年代初頭の教育の公共性をめぐる研究動向ー日本教育学会「教育を
めぐる『参加』研究委員会」の活動を手掛かりに

（2）狩野研究員：「影山昇氏へのインタビュー」報告

1. 影山氏が島小の産休代替講師であった3ヶ月間
2. 影山氏の「島小日記」「私の授業記録」
3. 斎藤喜博校長の指導

・次回研究会 12月15日（金）13：30～